



## 電子カルテは、 最先端の大腸癌治療に活用されています。

内科・胃腸科

●工藤胃腸内科クリニック／工藤大腸癌研究所 様(秋田県秋田市)

秋田県は大腸癌の死亡率が全国第2位。この背景をもとに、2008年5月にオープンしたのが工藤胃腸内科クリニックと工藤大腸癌研究所です。「大腸癌では死なせない」をモットーに、①拡大内視鏡を用いた質の高い医療を提供すること②患者様の満足度を満たすこと③世界へ内視鏡診断学と治療法を広げていくこと——を理念に掲げ、世界最先端の拡大内視鏡による早期診断・早期治療と研究活動に当たってゆきます」(工藤 進英特別顧問 昭和大学医学部教授・昭和大学横浜市北部病院副院長・消化器センター長)

その先進医療に威力を発揮するのが電子カルテシステム。「検査の患者様が多いので、決まった処方(前処置)を出すのに電子カルテはたいへん便利。コメディカルを含めて、カルテを同時に参照したい場合は、画像所見をスキャンしておけば写真を出したり閉まったりする必要がありません。問題が生ずれば、BMLがすぐ電話で親切にサポートしてくれるから安心ですね」(工藤 由比院長)

現在、受付に1台、待合室に1台、診察室に1台、内視鏡室に1台、事務室1台、医局にサーバー1台の構成により電子カルテシステムを運用。「大腸癌では死なせない」をモットーにする同クリニック・研究所のために、ぜひお役に立ちたい、BMLの《メディカルステーションクリニック》。

患者さんにお医者さんに  
うれしい電子カルテ。

